

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

協議会名：大槌町地域公共交通活性化協議会

令和8年1月19日

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前） （又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
大槌地域振興株式会社	<p>大槌町民バスの運行</p> <p>【運行系統名】 金沢小錠線(5系統)</p> <p>【実施期間】 令和6年10月1日 ～令和7年9月30日</p> <p>【実施した取組】 12月31日から1月2日を 除き、各地区から幹線へと 繋ぐフィーダー交通として金 沢小錠線を運行した。 当該路線は、令和6年 4月1日にダイヤ改正を 実施している。</p>	<p>【一次評価】 収支率は、昨年度比で 減少している。要因として、 燃料費等物価の高騰の影 響等が挙げられる。 乗降調査等により利用 者ニーズを捉え、ダイヤの見 直し等の収支改善を図る。 新型コロナウイルス感染 症が5類感染症移行後、 利用者は増加傾向であり、 情報発信等による利用促 進を図る。</p> <p>【二次評価】 利用実態調査等を実施 し、ダイヤ改正等の改善の 取組につなげている点、評 価する。 引き続き、効果的な情 報発信を検討し、新規需 要の掘り起こしを含む利用 促進を図ることを期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 計画への反映の有無：無 昨事業年度に、公共交 通利用実態調査等の結 果に基づくダイヤ改正及び 周知を実施し、当該ダイヤ を継続して運行している。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づ けられたとおり、適切に実 施された。</p> <p>【実施した事業の評価】 延べ8,097人が利用し、 買い物や通院の交通手 段を確保するとともに、外 出機会の創出に寄与した。</p>	<p>C</p> <p>①収支率を20%以上と する。 ※金沢小錠線・循環線 の合算による ⇒実績：12.6% (達成率：63.0%) 燃料費等物価高騰の 影響が大きいと考えられ る。</p> <p>C</p> <p>②1便あたりの平均乗 客人数を4.0人/便以 上とする。 ⇒実績：2.5人/便 (達成率：62.5%) 目標を達成できたのは、 5系統中2系統だった。 また、目標を達成でき なかった3系統の内、2 系統は、1便当たりの平 均乗客数が2.0人/便以 下となった。※大貫台～ マスト ⇒1.3人/便 徳並～マスト ⇒1.0人/便 ※1便はフィーダー補助の 運行回数換算で0.5回</p>	<p>令和8年4月1 日以降に大槌町地域 公共交通計画(令和 9年4月1日～令 和14年3月31日)の 策定に着手することか ら、運行事業者や住 民からの意見を吸い 上げ、新規利用者の 確保及び利用促進を 図り、収支率の向上 及び1便当たりの平 均乗客人数の増加を 図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前） （又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
大槌地域振興株式会社	<p>大槌町民バスの運行</p> <p>【運行系統名】 循環線(1系統)</p> <p>【実施期間】 令和6年10月1日 ～令和7年9月30日</p> <p>【実施した取組】 12月31日から1月2日を 除き、町内の医療拠点や 商業拠点から幹線へと繋ぐ フィーダー交通として循環線 を運行した。 当該路線は、令和6年 4月1日にダイヤ改正を 実施している。</p>	<p>【一次評価】 収支率は、昨年度比で 減少している。要因として、 燃料費等物価の高騰の影響 等が挙げられる。 乗降調査等により利用者 ニーズを捉え、ダイヤの見 直し等の収支改善を図る。 新型コロナウイルス感染 症が5類感染症移行後、 利用者は増加傾向であり、 情報発信等による利用促 進を図る。</p> <p>【二次評価】 利用実態調査等を実施 し、ダイヤ改正等の改善の 取組につなげている点、評 価する。 引き続き、効果的な情 報発信を検討し、新規需 要の掘り起こしを含む利用 促進を図ることを期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 計画への反映の有無：無 昨事業年度に、公共交 通利用実態調査等の結 果に基づくダイヤ改正及び 周知を実施し、当該ダイヤ を継続して運行している。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づ けられたとおり、適切に実 施された。</p> <p>【実施した事業の評価】 延べ14,445人が利用し、 買い物や通院の交通手 段を確保するとともに、外 出機会の創出に寄与した。</p>	<p>C</p> <p>①収支率を20%以上と する。 ※金沢小湊線・循環線 の合算による ⇒実績：12.6% (達成率：63.0%) 燃料費等物価高騰の 影響が大きいと考えられ る。</p> <p>A</p> <p>②1便あたりの平均乗 客人数を4.0人/便以 上とする。 ⇒実績：4.6人/便 (達成率：115%)</p>	<p>目標達成を継続で きるよう、令和8年4 月1日以降に着手す る、大槌町地域公共 交通計画(令和9年 4月1日～令和14 年3月31日)の策定に おいて、運行事業者 や住民からの意見を 吸い上げ、新規利用 者の確保及び利用促 進を図り、収支率の 向上及び1便当たり の平均乗客人数の増 加を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前） （又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
・株式会社 大槌タクシー ・株式会社 大安	<p>デマンド型乗合タクシーの運行</p> <p>【運行区域】 ・株式会社 大槌タクシー 沢山、迫又、柁内、小枕、 安渡、赤浜 ・株式会社 大安 吉里吉里、浪板</p> <p>【実施期間】 令和7年4月1日 ～令和7年9月30日</p> <p>【実施した取組】 町民生活の環境やニーズに合わせた、暮らしを支える持続可能な公共交通の実現を目指し、各地区から幹線へと繋ぐフィーダー交通の手段を確保するため、デマンド型交通乗合タクシーを12月31日から1月2日を除いて運行し、交通不便地域に住む住民や交通弱者への支援した。</p>	※新規事業のため評価無し	A <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> <p>【実施した事業の評価】 交通不便地域に住む住民や交通弱者への支援として運行し、買い物や通院の交通手段として延べ550人の利用があり、外出機会の創出に寄与した。</p>	A <p>年間延べ利用者数を実施初年度400人とする。 ※実施初年度の期間は令和7年4月～9月 ⇒実績：550人 （達成率：137%） 当該事業は令和4年4月1日から実証運行を開始し、令和7年4月1日に本格運行に移行した。 実証運行中は週3回の運行だったが、本格運行へ移行する際、週4回に増便したことから、目標値を大きく達成したと考えられる。</p>	目標を達成しており、今後も運行事業者と連携し利用促進を図る。

【二次評価】